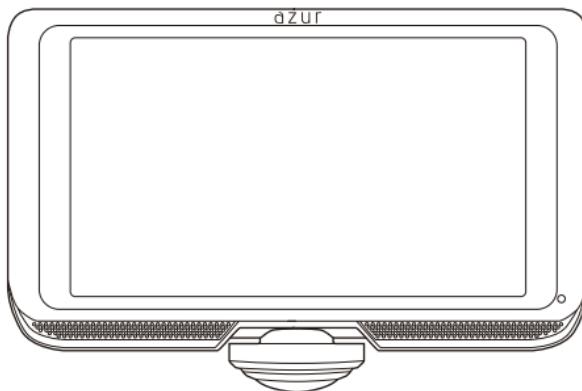


azur

360°ドライブレコーダー

DRX-P518

取扱説明書



保証書別添付

この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	1~3
■ 使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■ 商品構成一覧表	5
■ 各部の名称と働き	6

準備

■ microSDカードについて	7
■ 本機の取り付け	8·9
■ 電源オン/オフについて	10
■ モニター画面(タッチパネルスクリーン)	11

操作方法

■ 画面表示モード	12·13
■ 動画記録	14~16
■ 再生モード(ファイル再生/削除)	17
■ PC ビューウーについて	18
■ 設定メニュー	19·20

その他

■ トラブルシューティング	21
■ 仕様	22

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 各画面写真はハメコミ画合成で、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

- 規定容量を超えるヒューズを使用する
と、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い
上げの販売店または弊社サービスセン
ターにご依頼ください。(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を
及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハ
ンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる
場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り
付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトや
ナットを絶対に使用しない

- ステアリングやブレーキなどの保安部品
のボルトやナットを使用して取り付ける
と、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また
画像・表示を注視しない

- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前
方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車し、サイドブレ
ーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に
動作することを確かめる

- 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、
ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作
しない状態で使用すると、火災や感電、
事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げに
ならないように引き回す

- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・
足などに巻き付かないように引き回し、まと
めたり固定しておく等をしてください。事故
やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアース車で使用する

- DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- 煙ができる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- あやまつて、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- 内部に金属物や燃えやすいものなどがあると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子  を外しておく

- バッテリーのマイナス端子  を繋いたまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えばレジジャー・ポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり 傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の 多い場所に取り付けない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り 付けない

 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落すなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 車載用以外には使用しない強い衝撃を与えない雷が鳴り出したら、シガーアダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。
安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、
弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠️ 警告

取付中はエンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

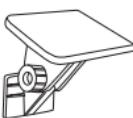
標準品

■ 本体



■ microSD カード(16GB)
(本体に挿入済み)

■ 取付ブラケット

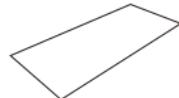
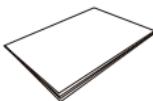


■ 取扱説明書

■ シガーアダプター



■ 保証書



オプション品(別売)

■ リアカメラ



⚠ 使用上のご注意

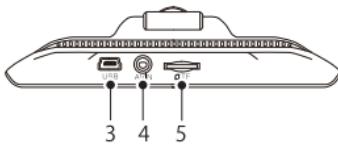
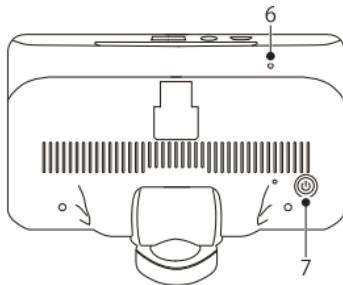
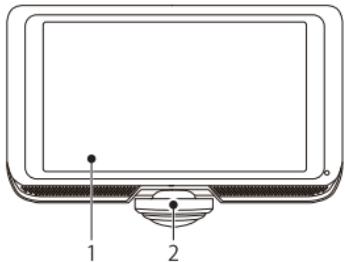
1 シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V)を超えた電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。

2 取付ステー(ブラケット)の使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

各部の名称と働き



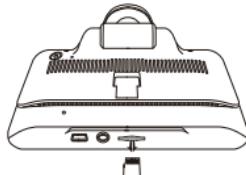
- ① モニター画面
- ② カメラ
前向き/下向きに可動することができます。
- ③ 電源ケーブル差込口
電源ケーブル差し込みます。
- ④ リアカメラ入力端子
オプションのリアカメラを接続します。
- ⑤ microSDカードスロット
microSDカードを挿入します。
- ⑥ リセットボタン
本機の設定をリセットします。
- ⑦ 電源ボタン
電源オン/オフまたはスクリーンオフ(画面の表示/非表示)が行えます。

microSDカードについて

以下の手順に従って、microSDカードの取り外しおよび挿入を行ってください。

⚠ 注意 記録されたファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

microSDカードを取り外す

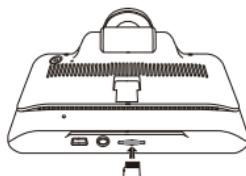


本機の電源がオフになっていることを確認してから、カチッという音が聞こえるまでmicroSDカードを挿入すると、microSDカードが取り外すことができます。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを取り外しすると、データの破損や本機の故障になる恐れがあります。

microSDカードを取り外す際、飛び出しがありますので、紛失にご注意ください。

microSDカードを挿入する



microSDカードの向きを確認して、カードスロットに差し込みます。

カチッという音が聞こえるまで確実に差し込んでください。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを挿入すると、データの破損や本機の故障になる恐れがあります。

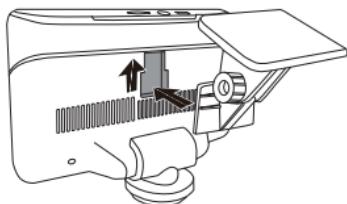
<microSDカードをご使用になる前に、次の内容を確認してください>

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- 必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。
- 動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すると、ファイルやカード自身が破損する恐れがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復は弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社として責任を負えません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 本機は、8GB～32GB(Class6以上～Class10)のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- ※推奨=8GB～16GB
- UHS-II規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーによる使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- 重大な事故などで電源が断たれた場合には、撮影ができなくなります。また、microSDカードに記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- UHS-II規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。
- microSDの定期的なフォーマットをおすすめします。フォーマットをしないと、正しく録画ができない場合があります。※推奨1ヶ月

本機の取り付け

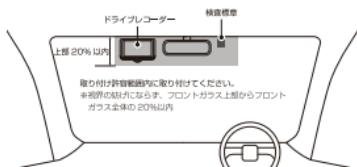
次の手順に従って、本製品を正しく取り付けしてください。

取り付けブラケットの取り付け



本機の背面にある凹部分とブラケットの凸部分を合せて、
ブラケットを上方にスライドしながら固定します。
※本機とブラケットを確実に取り付けてください

推奨取り付け位置



フロントガラスの中央部(リームミラーの後方)に設置すると、最適な映像を撮影することができます。
※中央部に設置できない場合は、映像が片方に寄る場合があります
※運転手の視界を妨げない位置に設置してください

取り付け



取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油分をきれいに取り除いてください。
ブラケットから保護フィルムをはがし、フロントガラスへ取り付けます。
モニター画面を確認しながら、本製品の角度を調整します。

⚠ 警告 ※固定力を強くするために、本体を取付後24時間以上放置してから使用してください

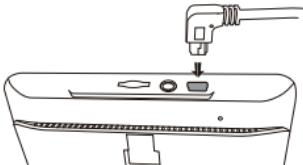
※貼り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります

※取り付けステーのジョイント部に無理に力を入れないでください。破損することがあります

※確実に装着していないと、走行中に脱落する場合があります

本機の取り付け

電源ケーブルの接続

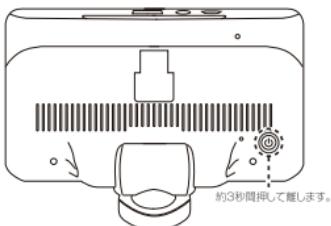


エンジンがオフになっていることを確認してから、電源ケーブルを本体と接続します。

電源ケーブルを本製品の電源端子に接続します。
リアカメラ(オプション)を取り付ける場合は、リアカメラ接続ケーブルをリアカメラ入力端子に接続します。

電源オン/オフについて

電源をオンにする



<手動操作>

電源ボタンを約3秒間押してから放すと、電源オンになります。

<エンジン運動>

エンジンを始動すると本機に電源オンになります。

⚠ 注意 電源をオンにしてからシステム起動まで数十秒かかります。

電源をオフにする



<手動操作>

電源ボタンを約1秒間押したままにすると、電源がオフになります。

<エンジン運動>

エンジンを停止すると、左図のようにモニター画面にメッセージが表示されます。

「電源オフ」をタッチすると、本機の電源がオフになります。

メッセージ表示されている時に、約10秒間操作しないと、選択されている操作が実行されます。
「取消し」をタッチすると、約1分後に再度メッセージ表示されます。

スクリーンオフ

モニター画面表示されている際、電源ボタンを短押しすると、画面がスクリーンオフとなります。
再度、電源ボタンを押すまたはモニター画面をタッチすると、画面が再度表示されます。

⚠ 注意 録画中に画面を非表示にしたときも、録画は継続されます。

<製品使用上の注意事項>

| エンジン連動ON機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。また、本体の内蔵バッテリーの充電状態(空もしくは充電不足等)によっても、正しく動作しない場合があります。

その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかった場合は、通電を行い、充電をするようお願いいたします。

| アイドリングストップ車での電源OFFについて

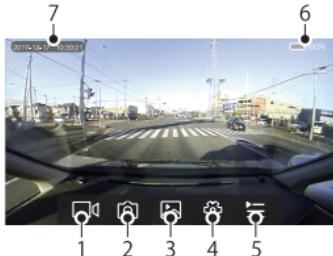
アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がOFFとなる場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

モニター画面(タッチパネルスクリーン)

モニター画面にタッチすることでさまざまな操作が可能となります。

映像表示されているときにモニター画面にタッチすると、約10秒間メニューバーが表示されます。

メニューバー表示内容



- ① 動画撮影
- ② 静止画撮影
- ③ 再生メニュー
- ④ 設定メニュー
- ⑤ 画面表示モードメニュー
- ⑥ バッテリー残量
- ⑦ 日付時刻

メニューバー(録画中)表示内容

録画中はメニューバー表示が以下となります。



- ① 録画中アイコン(赤く点灯します)
※アイコン内の数字は、1ファイルあたりの録画時間
※録画中にタッチすると、録画を停止します
- ② 静止画撮影
- ③ タッチするとアイコンがオレンジに変わり、録画中のデータを約12秒間ロックします。
※自動で上書きされないファイルとして保存します
- ④ 画面表示モードメニュー
- ⑤ 録画中アイコン
※ファイルロック中はSOSアイコンが表示されます

画面表示モード

4つの画面モードを選択することができます。

表示モード



ワイドアングルモード

カメラを前向きにして、フロント方向を広角で撮影します。



球面モード

カメラを下向きにして、フロント方向を円形に撮影します。



フロント & バック

フロントおよびバック(リア)方向を上下2分割にして表示します。



マルチウィンドモード

全方位の撮影範囲を、前後左右に4分割にして表示します。

画面表示モード

画面表示モードの切り替え

録画中や録画停止中、記録ファイル再生中に、画面表示モードを切り替えることができます。

モニターにタッチしてメニューバーを表示し、≡ アイコンをタッチすると、画面モード選択メニューが表示されます。

画面操作

画面の回転

モニター画面をスワイプすると、画面表示を回転させることができます。

※ワイドアングルモードは非対応

全画面表示

フロント & パックおよびマルチウインドウモードでは、画面をダブルタッチ(素早く2回タッチ)すると、タッチした画面が全画面で表示されます。

元の画面に戻すには、再度画面をダブルタッチします。

リアカメラの表示(オプション)



オプションのリアカメラを取り付けることで、リア映像を画面に表示することができます。

※画面右側のウインドウにリアカメラの映像が表示されます

リア映像が表示されているワイド画面にタッチすると、リアカメラの映像が全画面表示に切り替わります。

⚠ 注意 リバース線接続時にリバース(R)ギアを入れ、バックランプが点灯すると、リアカメラ映像が全画面に表示されます。また、車両周辺のガイドラインが表示されます。

※リアカメラの映像だけで後退するのはおやめください

※後退するときは、必ず目視で確認しながら行ってください

※リアカメラの映像は、表示モードの変更や画面表示の回転はできません

※ガイドラインについては、自安となり、車幅や距離間隔と異なる場合があります

※リアカメラが映し出す範囲には限界があります

※夜間や暗い場所など、仕様状況によって画質が低する場合があります

※設置については、販売店または専門業者におたずねください

動画記録

撮影データのファイル構成

本製品で撮影された各データは、microSD カードに保存されます。

動画データは、常時録画の設定時間毎に分割され、microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをお勧めします

※常時録画時間の設定方法については、「P19 各種設定」を参照ください

-  注意 Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像やファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、自動で上書きされません。
ロックされたファイルが増えると、通常録画で保存される空き容量が減少しますので、必要に応じてファイルを削除してください。
※ファイル削除方法については、「P17 再生モード(ファイル再生/削除)」を参照ください

動画撮影方法

<自動撮影>

自動録画モードがオンに設定しているときは、電源オンで本機が起動すると、自動的に録画が開始されます。

※自動録画モードのオン/オフについては、「P19 設定メニュー」を参照ください

<手動撮影>

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、アイコンをタッチして撮影を開始します。
アイコンがオレンジ色に切り替わり、画面左上に録画中アイコンが点滅します。

動画撮影停止方法

画面モニターにタッチしてメニューバーを表示し、アイコンにタッチすると、動画撮影が停止され、画面左上の録画中アイコンが消えます。

-  注意 アイコンに表示される数字は、設定した1ファイルあたりの記録時間によって異なります。
※記録時間の設定については、「P19 設定メニュー」を参照ください

動画記録

静止画撮影

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、アイコンをタッチします。
表示されている映像を静止画撮影します。
※録画中でも撮影することが可能です

ファイル保護(ロック)



録画中ファイルをロックする

- 録画中に画面モニターのメニューbaruを表示し、アイコンをタッチします。
- アイコンがオレンジ色の表示に切り替わり、動画ファイルをロックします。

撮影した動画ファイルを保護し、自動的にファイルが上書きされないよう保存することができます。
約12秒間ファイルを保護し、通常録画に戻ります。

衝撃感知録画

録画中、衝撃を感じると衝撃感知機能が作動し、録画中のファイルとは別に感知後から約12秒間の録画ファイルを保護し記録します。

約12秒後に衝撃感知録画を終了し、通常録画に戻ります。

※衝撃感知機能は本体のみで働きます。オプションのリアカメラでは機能は働きません

動画記録

駐車監視モード

エンジンを停止して本製品の電源がオフになった後でも、衝撃を感じると感知後の映像を録画することができます。

駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護されます。



駐車監視モードを作動させる

- 電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に左図の操作メニューが表示されます。
- [駐車監視]を選択すると、画面表示が消え、約1分後に駐車監視モードが作動します。
- 駐車監視モード作動中に衝撃を感じると、感知後の映像を約12秒間録画し、その後、再び駐車監視モードに戻ります。

- ⚠ 警告 駐車監視モードは内蔵バッテリーで作動します。その為、バッテリーが減ると駐車監視モードを停止します。
- ⚠ 注意 駐車監視モードが作動すると、「ピーン」というBEEP音が鳴動します。音声設定で消音しているときは、このBEEP音は鳴動しません。

※音声録音設定については、「P19 各種設定」を参照してください

※バッテリーの状態によって、駐車監視モードが稼働できる時間が変動します

駐車監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、通常録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。

- ⚠ 注意 自動録画モードがオフに設定されている場合でも、駐車監視モードから復帰したときは自動で録画開始されます。

※自動録画モードについては、「P19 設定メニュー」を参照ください

再生モード(ファイル再生/削除)

撮影した動画もしくは静止画ファイルを本機で再生させることができます。

ファイル選択

- モニター画面をタッチしてメニューバーを表示し、ファイル管理メニューを表示します。
- 撮影したカメラの種類を選択します(下図参照)。
- 表示されたファイルをタッチします。



フロントカメラ
(本製品で撮影した動画)



リアカメラ
(オプション品で撮影した動画)



フロントカメラ
(本製品で撮影した静止画)

動画再生画面



- 1 一つ前の動画を再生
- 2 再生/一時停止
- 3 次の動画を再生
- 4 画面表示メニュー表示
- 5 前画面に戻る

静止画表示画面



- 1 前の静止画を表示
- 2 次の静止画を表示
- 3 画面表示メニュー表示
- 4 前画面に戻る

動画/静止画の削除



削除したいファイルを長押しすると削除メニューが表示されます。

- 1 全てのファイルを選択
- 2 選択しているファイルの数
- 3 削除の決定
- 4 キャンセル

PCビューウーについて

専用のアプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で様々なアングル表示再生ができます。

PC動作環境

PCビューウーを実行するための動作環境は以下の通りです。

- OS : Windows 7以降(64ビット推奨)
- CPU : Intel Core i5以降
- メモリ : 4GB以上
- その他 : DirectX 9.0 以降 /Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

*Macには対応していません

*すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません

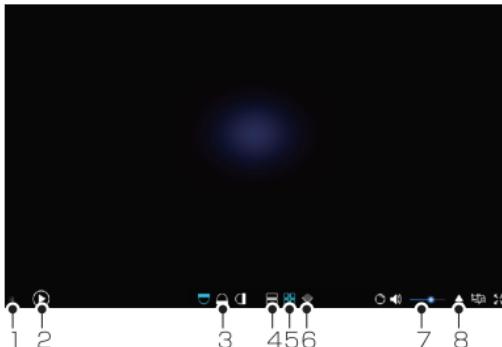
*パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、出しく動作しない場合があります。

PCビューウーのインストール

PCビューウーのインストールファイル(VeSee_Setup.exe)は、本製品と一緒に提供されるmicroSDカードのルートフォルダに保存されています。

手順に従い、PCビューウーフォルダをパソコンへインストールしてください。

- ① PCにmicroSDカードを挿入します。
- ② インストールファイル「VeSee_Setup.exe」を起動し、インストールウィザードの手順に従ってインストールを行います。インストールが完了すると、PC内に「VeSee」フォルダが作成されます。
- ③ アプリケーション「VeSee.exe」を開いて、PCビューウーを表示します。



- ① プレイリスト表示
- ② 再生 / 停止
- ③ カメラの向きを変更
- ④ 前後 2画面モード
- ⑤ マルチアングルモード
- ⑥ ワイドアングルモード
- ⑦ ボリューム調整
- ⑧ ファイルの選択

設定メニュー

本製品の各種設定(撮影記録設定/システム設定)を行ないます。

設定メニュー



モニター画面にタッチしてからメニューバーを表示し、
⚙️ アイコンにタッチすると、本機の設定メニュー画面
が表示されます。



設定別項目の「記録」または「システム」をタッチして、
設定したい項目の設定値を選択します。



<記録>

- 1 常時録画
通常録画時に保存される1ファイルあたりのループ
記録時間を「1分」「2分」「5分」から選択します。
- 2 Gセンサー
衝撃感知モードが作動する感度設定をします。
低：低感度。(強い衝撃で作動)
中：通常の感度。
高：高感度。(弱い衝撃で作動)
- 3 フリックレス
周波数を選択します。
50Hz:東日本でご使用の場合に選択します。
60Hz:西日本でご使用の場合に選択します。
- 4 自動録画モード
本機の電源をオンにしたときに、自動で録画が開始
されるモードのオン/オフ設定を選択します。
- 5 音声録音
録画中の音声録音のオン/オフを選択します。
- 6 バックカメラ鏡像
リアカメラ(オプション)の映像を画面に表示する設定の
オン/オフを選択します。
- 7 スクリーンセーバー
スクリーンセーバーの設定時間を「1分」「2分」「5分」
「オフ」から選択します。

設定メニュー



<システム>

- 1 言語設定
表示言語を、日本語・中国語・英語から選択します。
- 2 音量設定
スライドバーを操作して、録画時の音量および本機の操作音を設定できます。
消音にする場合はスピーカーアイコンをタッチします。
- 3 日時設定
日付または時刻にタッチして日時設定を行ないます。
- 4 システム再設定
フォーマット:microSDカードに記録されたファイルを全て削除します。※保護ファイルも削除します
工場出荷設定:本機の設定を工場出荷時設定に初期化します。
- 5 バージョン
ファームウェアのバージョンが表示されます。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。
下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
本製品の電源が入らない エンジンを停止したとき、または本製品が作動しているとき、すぐに電源がオフになってしまう	シガープラグや接続ケーブルはしっかりと接続されていますか？ 各種ケーブルの断線などが無いかを確認してください。 本製品の電源端子が外れていませんか？ 本製品の内蔵バッテリーの充電がないと、駐車監視モードが正常に起動できません。しばらく充電を行ってください。
異常動作	リセットボタンを押下し、本機を再起動してください。
記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている	microSDカードをフォーマットしてください。 新しいmicroSDカードに差し替えてください。
記録が出来ない	適切なmicroSDカードを挿入してください。
再生の際、音が出ない	音声設定の音量を確認してください。
常時録画ができない	保護ファイルがmicroSDカードにたくさん保存されている可能性があります。不要なファイルを削除してください。
タッチパネルが操作できない	システムエラーの可能性があります。リセットボタンを押下し、本機を再起動してください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になってしまんか？画面をタッチするか、電源ボタンを押下してみてください。

【内蔵バッテリー(リチウム電池)について】

- 内蔵バッテリーには寿命があり、消耗品となります。
- 内蔵バッテリーは消耗に伴い膨張する場合があります。これはリチウム電池の特性であり、安全上問題ありません。
- 内蔵電池の膨張による故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、予めご承知ください。なお、保証対象外のため、修理可能な場合であっても有償修理となります。
- 安全のため、+60°以上では内蔵バッテリーは使用できません。

仕様

型番	DRX-P518
商品名	360°ドライブレコーダー
記録媒体	microSD/SDHCカード(8G~32GB) ※推奨8GB~16GB) ※16GB Class10同梱
カメラ	映像素子 視野角(レンズ画角) CMOSセンサー・1/3型 水平360°/垂直220°
記録解像度	動画 静止画 有効画素数 1440×1440(約200万画素) 約300万画素 約300万画素
録画ファイル構成	1分/2分/5分
画面サイズ	4.5インチタッチパネル液晶
マイク	高感度マイク内蔵
フレームレート	24fps
スピーカー	1W/8Ω 1個
音声設定	設定可能
記録方法	常時録画 Gセンサー(衝撃感知)録画 静止画撮影 駐車監視モード(衝撃感知録画)
ファイル形式	動画:H.264(.mov/.avi) 静止画:JPEG
映像外部入力	専用リカカメラ(オプション)入力(Φ2.5ミニジャック)
記録映像再生方法	PC再生専用ピューワーソフト(Windows7以降)
再生画像分割表示	フロントワイドアングル/球面/フロント&バック(2画面)/マルチウィンドウ(4画面)
電源	電源ケーブル USB付き電源ケーブル(約3.5m)同梱 ヒューズ容量:3A
使用電圧	DC12V/24V
寸法	129.5(W)×77(H)×18.5(D)mm(突起部除く)
重量	約156g(カメラ本体)
動作温度範囲	-20℃~+65℃

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください

※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

dZUr

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>

2018.01